

平成 28 年度第 9 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 29 年 1 月 25 日（水） 18：30 ～ 20：00

【場 所】 厚田保健センター

【出席者】 9 名（15 人中）

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	佐 藤 勝 彦	○	委員	小 山 玲 子	○	委員	中 井 健 太	
副会長	渡 邊 教 円	○	委員	今 光 江		委員	平 賀 敏 和	○
委員	大 内 さつき	○	委員	坂 本 悌 生		委員	前 田 和 也	
委員	大 黒 利 勝	○	委員	柴 田 志寿子		委員	築 田 敏 彦	○
委員	小笠原 英 史	○	委員	柴 田 肇	○	委員	吉 田 美 香	

※正副会長を除き、あいうえお順

支 所 ～ 西田支所長・田村生涯学習課長（兼市民福祉課長）・沼倉隊員

事務局 ～ 高田地域振興課長・相原主幹・中村主任

（地域振興課）

【傍聴者】 1 名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

（1）住み慣れた厚田で生活をするために求められるシステムとは

（2）地域おこし協力隊の選考委員の推薦について

4. 報告事項

（1）地域おこし協力隊の募集状況について

5. その他

6. 次回の日程について

7. 閉会

1. 開会

【（厚）地域振興課 高田課長】

皆さんお晩でございます。第9回の協議会を始める前に、今日は今委員、柴田志寿子委員、坂本委員、吉田委員、中井委員の6名から欠席の連絡を受けておりますので、報告させていただきます。

それでは、第9回厚田区地域協議会を開催致します。佐藤会長、開会のご挨拶をお願い致します。

2. 会長あいさつ

【佐藤会長】

お晩でございます。

例年になく雪が少なく安心していましたら、今日の協議会を目がけて朝から不気味な雪が降ってきまして、やっとの思いで家を出て来ました。

本州の方は観測史上初めての雪ですので、例年の雪は全て向こうに行ってしまったのかと思っています。

インフルエンザが流行る時期になってきましたので、委員の皆さんにおかれては手洗いやうがい励行して、風邪を引かないように気を付けて頂ければと思います。

早速議題に入っていきたいと思います。

3. 協議事項

【佐藤会長】

それでは協議事項に入らせて頂きます。よろしくお願いします。

住み慣れた厚田で生活をするために求められるシステムとは

【（厚）地域振興課 高田課長】

皆さんこんばんは。地域振興課の高田です。

それでは私の方から説明させていただきます。

皆さんご承知の通り、昨年4月から自治会との連携をもっと深めよう、ということで各地区を回りまして、情報交換会を実施し、その結果については前回の地域協議会で説明させて頂いたところです。

今回は、5連の会長さんに集まって頂きまして、この資料について議論をしました。最終的には5連の会長会議の中では、このような姿を自治連合会として目指そうということで確認されましたので、この中身のご説明をさせて頂いて、皆さんからもご意見やアドバイスを頂きたいと思います。

まず、資料1ですが、近い将来起こり得る現状ということで、今後少子高齢化が進んで、高齢者が増えてくるということで、今後想定されることを纏めています。まず1点目ですが、食事や買物など、日常生活に困る高齢者が、今後更に増えてくるのが想定されます。次に2点目ですが、運転免許証を返還した場合、交通手段がますます不便になることが想定されます。これ以外にも様々あると思いますが、将来起こり得ることとして、大きくこの2つを想定しています。

その結果、自分一人では住み慣れた厚田での生活が難しくなり、子どもの所などで生活せざるを得ず、苦渋の選択の中で厚田を離れざるを得ない人が増えてくるのではないかと、ということで想定をしたところでございます。

資料の中段になりますが、これらの起こり得る状況を想定して、地域の方々が求める姿や、地域外の方が求める姿を、厚田区が目指す将来の姿「近説遠来」の形で纏めています。

まず、「近説」の部分ですが、まず1点目として日常生活の支援ということで、買物や除雪、そして2点目として、小さな困り事の解決などが求められると思います。また、交通の部分ですが、地域での交通の確立・確保に向けて、デマンドバスなどの仕組みがますます求められてくると思います。それから、3点目として各種事業、団体、町内会もそうですが、やはりメンバーの高齢化や後継者不足など、様々な課題が出てきているということで、地域活動のサポートという部分もこれから出てくだろうと考えています。4点目ですが、食ということで、地域の人が楽しめる場所が求められているのではないかと、と。近説の部分では4つ纏めています。

次に、「遠来」として外から求められる状況という部分になります。この部分では5つほど課題を挙げています。まず1つ目は宿泊施設ということで、なかなか厚田には泊まる場所がない。民宿はいくつかありますが、多くの人が泊まれず、数も少ないこともあって、例えば学生さんや家族連れや少年団の合宿とか、色々な合宿など、このような宿泊施設が求められている、というのが1点目。

2つ目は、旬な食材の流通。厚田には海のもの、山のものなど、旬のものがたくさんあります。それらを例えば札幌の食堂や寿司屋とか、いろいろな所に繋いで欲しいわけですが、その繋ぎの役割を果たす人材や組織がない、ということで、これらも外からは求められているのではないかと、ということで2つ目として纏めています。3つ目は、体験ということで、厚田では色々な体験が出来る。現在も体験をやっていますが、例え

ば漬物や飯寿司や魚捌きなど、農業や漁業の体験が外から求められている、ということで3つ目に挙げています。4つ目と5つ目は、情報の発信と、情報の斡旋の部分ですが、発信の部分については観光や地域でのイベント、それから斡旋については、空家、民泊、そして人材ですね。農業者や漁業者の人手不足もあり、人材バンク的なものが求められている、という事で纏めたところです。

これらの状況を纏めつつ、今後進むべき方向として、一番下に地域が目指す姿として纏めています。ここに書いていますが、いつまでも、いくつになっても、住み慣れた厚田の地で生活が出来る、というシステムを構築して、住民同士が共に支えあう状況を構築する、というのが、今後自治連合会を中心に求められている姿ではないか、ということで纏めたものでございます。出来ることを出来る人が出来る時にやり、地域住民から頼られ、求められ、必要とされる、そのような拠点作りを進めるべきではないか、と。そして地域住民の活動から、生き甲斐とか、やりがい、楽しみ、喜びから、厚田区が目指す近説遠来の実現を図って行こうではないか、ということで、1月16日ですが、5連の会長さんが集まって、この方向性を確認したところでございます。

次に資料の2ですが、これは今話した部分を具体的にどのようなイメージで実現していくか、ということをや纏めたものです。仮称あつたカンパニーの大きな3つの柱については、1つ目は日常支援、2つ目は地域交通、3つ目は地域振興活動、ということです。具体的には、下に①～⑪までという事で纏めています。例えば1つ目の日常生活の支援という部分では、宅配や移動販売車の斡旋。宅配で行きますと、トドックがありますが、高齢者で記入が出来ない方がいた場合の代理記入や除雪などの小さなお手伝いを想定します。例えば電球が切れた時に取り替えて欲しい、とか、戸車が壊れたので直して欲しい、とか。このような小さな困り事をお手伝いすることを想定しています。

次に地域交通については2つ目に書いてあるデマンド交通ですが、これは縦断的な活用ではなく、例えばスクールバスは学校のみを活用なので、横断的に医療でも温泉送迎や道の駅に出荷する農産物の集荷や、宿泊施設が出来ればそこに花川の人を連れてきて、宴会やおもてなしをするとか、また厚田の中では宴会が出来る場所がないので、例えば地域の人が料理を作っておもてなしをするとか、そのようなことも想定しています。それから最後に3つ目の地域振興活動ですが、③～⑪に纏めています。宿のことから食事のこと。それから地元の特産物を活用したお土産パックとか、景品のセットの斡旋とか、そのような事も出来るかな、と。

裏面に、どのような組織をイメージしているかを纏めており、仮称あつたカンパニーという枠組みの中に、例えばですが、素案の段階でこれから具体的に時間を掛けながら検討しなければなりません、自治連合会やそれぞれ自治会員になられている方、厚田に住んでいる方の9割方は町内会に加入していますので、そこにターゲットを絞り、会員制にして自治会と連携を図りながら、組織を運営するという形で、会員制、自治会員と書いてあります。これを取り纏める人がいて、①～⑪までのオファーを受けて、これをコーディネーターが切り回しする。例えば、除雪の依頼が来た場合は、除雪を担当できる方の名簿を作っておいて、コーディネーターが連絡をするイメージです。このような形で支援活動して、業務を完了して対価を頂き、サポートした方に対価として賃金を払う、という形をイメージしています。これはあくまでも現段階でのイメージですので、これから組織を作りながら、どのような形がこの地域にあっているのかを考えて行きたいと思っています。

大まかなスケジュールですが、1月16日に5連会長会議が終わりまして、この会議の中ではこのような方向性で進みましょうということで、確認がされています。今後、民協とか職員とか書いてありますが、当然高齢者の関係なので、地域の民生児童委員協議会の皆さんや、当然支所の市民福祉課のメンバーや地域振興課のメンバーも関わらないといけないということで、この辺について話をしていく予定でございます。

この後、当然各地区会議という部分もあるのですが、そこにもこのイメージを説明していくのと同時に厚田区としてはこのイメージを目指すということです、石狩市の関係部局と調整して、共に確認しながら進めていくことが必要であろうということで、内部調整も進めていく予定です。

それから2月の下旬頃には、これらを理解し参画頂ける地域の方、民生児童委員協議会の方や、職員の3者で各地区を回り、聞き取り調査をしていきたいと思っています。

目指す姿として、資料を基に説明させて頂きましたが、本当にこれだけなのか、また違った姿もあるかもしれないので、アンケートではなく、出向いて聞き取り調査が必要と考えており、今後組織が出来た段階で、色んなことが出てくると思いますので、関係部署と連携を図りながら、調査の内容を検討していきたいと考えています。2月から3月にこの聞き取り調査とニーズの取り纏めと、目指す方向性と事業項目の確定を取り纏めていきたいなと考えています。

その後については、ルール作りなど記載していますが、この部分は今後具体化する予定です。

つきまして、地域協議会の皆さんからもご意見を頂ければと思いますので、よろしくお願いします。

【佐藤会長】

ありがとうございました。

今の点について、いかがでしょうか。

【（厚）地域振興課 高田課長】

5連の会議の中でも、なかなか高齢になってきて、例えば町内会活動も決まった人しか出てこないんだ、という声もありまして、なかなかこのような姿を目指そうとしても、実現に向けては難しいのでは、との意見もありました。そこで、狙いとしては、出来る人が出来る時にという事で、例えば電球の交換など本当に小さなことでも構わないので、利用しているうちにこの仕組みの大切さを認識し、今度は逆に自分がサポートする側になってくれる展開が出来ないかな、と考えています。何かやってあげたから、次あなたがやってくださいよ、という意味ではないですが、このようなことを繰り返していくうちに、例えば高齢でも山菜取りが得意な人が、年間1回でも何かサポートできないか、と参加してもらえれば、現在はなかなか関わりが持てない人でも、徐々に取り込んでいけるのではないかと、考えています。

【佐藤会長】

ありがとうございました。

ここには書かれていませんが、住民が減少すれば、厚田支所の職員も減少し、住民サービスが低下していきます。このような時に、困っているお年寄りに対して地域で支えあう以外に方法がないと思います。地域で支え合う際に、小さな困り事を含めて、直接近所の人に言いづらい面もありますので、カンパニーのような組織を核にしながら、人と人を結び付けていく仕組みを、簡単ではありませんが粘り強く作っていくことが必要になってくると思いますが、柴田委員はどうお考えですか。

【柴田委員】

地域交通に限ってちょっと検討した方がいいと思っていることがあります。

浜益で行っているデマンド交通は、市の方で業者に委託して運行していると思いますが、あつたカンパニーの発足に伴う、整合性というか。私もライフサポートの方で活動させてもらっていますが、道の駅が完成した際には、そこを拠点にして運行形式も変化していくであろうと、話し合っていた経過もありまして、業者に委託する方法と厚田区で実施している形のバランスと言いますか、兼ね合いと言いますか、この辺もよく検討した方が良いのではと思っていますが、この辺はどのような方向に行きそうでしょうか。

【（厚）地域振興課 高田課長】

浜益はとりあえず中央バスが無くなったという事で、その代替にデマンド交通を導入した経過があります。厚田の場合はまだ中央バスが走っていますが、今のうちから将来に向けてどのような交通網が必要か、皆さんで検討していくことが必要と思っています。

浜益では市が業者に委託してデマンドバスを運行していますが、厚田ではカンパニーが業者とやり取りして運行していくイメージを持っています。あくまでもカンパニーの中で業者と結び付いて、カンパニーで受付して、その業者に走って貰う事を考えています。ただ、これはまだまだこれから詳細を検討する部分ですので、今の段階でのイメージです。

【（厚）西田支所長】

今の説明の部分をちょっと補足させていただきます。

現実的なものとして見えてきた段階では、ライフサポートの皆さんともどのような形がいいのか、話し合いが必要と考えています。どちらが主導ということではなく、一緒にやって行きたい、というのが根本にありますので、誤解の無い様をお願いします。

【佐藤会長】

ライフサポートも年々高齢化してしまっていて、年齢が上になってきますと、免許を返さないといけない状況になり、今度はサポートされる側になるわけですね。若い方のメンバーもいますが、私生活もありますので、突然の依頼に対して対応するのは難しい場面が多く、将来的には資料にある形で出来るよう検討していく方向と思います。

【（厚）西田支所長】

私共としては、このような形で考えていますが、実際に住んでいる住民の方々がどのように思っているのかという点については、個々にお話を聞く機会はありますが、全ての方の声を聞く機会がなかなかなく、全戸にまたがるぐらいの気持ちで、聞き取りをしながら、話を伺って、その資料を基に今、何が求められているのか、ということを丁寧に作らないといけないと思っています。

【 築田委員 】

地域協議会の中で立案して、実際に動くのは地域だと思っていますが、私は民生員もやっていまして、石狩市の社会福祉協議会が主催して、石狩市を11地区に分けて、地区福祉懇談会というものを毎年1回やっています。

厚田区の場合は、望来のみなくると総合センターで交互にやっていまして、そこには各町内会長さんやボランティアの方、そして高齢者クラブの皆さんにも案内を出したりしています。集まる人数は少ないのですが、そことバッティングすると社会福祉協議会の事業ですから、本当に地域が助け合って生活するにはどうしたらよいか、という点に焦点を当てた会議になります。今年は、3月24日にみなくて13時から実施することになっていますが、その場でこの話をしていただけると、より一層皆さんの声を聞くことが出来ると思います。

早急に何かをやっていくことにはならないと思います。この社会福祉協議会でやっている地域福祉懇談会も何年もやっていますが、問題提起はされるものの、実現は難しいのが現状ですので、もっと具体的な形になるような提案が参加者から出てくるかもしれませんので、このような場も活用しながら、もう少し時間を掛けないと決まらないのかな、という気がします。

【 佐藤会長 】

確かに石狩市の社会福祉の方で、地域課題を色々把握されていると思いますが、資料にあるような買物難民や生活支援が必要になる独居老人などに対して、具体的な手が差し伸べられない、というのが築田委員の発言にあったように現状ですし、だからこそ出来ることから具体化していこうということです。ですから、出来ることを出来る人がやればいいのですが、人間関係がないからなかなか出来ないと思います。自分で出来ることがあっても、外に出て行くことは勇気が必要になりますが、それ以上に年を取ると結構億劫になってしまいますね。ですので、多様な人間関係によって、その人の持っている力を引き出していくことが大切です。築田委員が言われたとおり、時間が掛かるとは思いますが、一歩ずつ積み上げていくしかないと思います。そして、このような取り組みを続けていけば、区民の意識が変わってきます。この変革がカンパニーの狙いの一つだとも思います。

【 大黒委員 】

目指す方向性については理解しました。私たちのライフサポートの会も、先ほどから言われている通り高齢化が進んでいます。是非地域全体で纏めて実施してもらいたいと思います。

私は地区老人会の会長をやっていますが、会の中で結構助け合いをしています。特に私たちの会では運転免許をどうしたらよいか、と話が出ます。いろんな問題が出ていますから、実態を調査すれば、今以上にいいアイデアが出ると思います。

【 佐藤会長 】

ありがとうございます。

大黒委員が言われたように、免許証を返したいけど、交通の確保が出来ないので、結局事故を起こしてしまう事例が少なくありません。それともう一つ、中央バスはまだ運行していますが、これは営利目的ですから、会社の利益にならなければ、休止や本数を減らしてしまいますので、この時になってから慌てても遅いですから、今のうちから地域で協議する必要があります。

【 平賀委員 】

新しい人が移住できる点についてもう少し盛込んだ方がよいと思います。若い人でも厚田に戻って来たいと思っている人もいると思うので、これを支援できるようなことも考えていく必要があると思います。

【 渡邊副会長 】

理念としては異論ありませんが、内容的に盛り沢山ですから、一気にやろうとすると恐らく難しいと感じています。優先順位をつけた中でどのようにやっていくのかを、整理していかないと、実際に携われる人も限られるので、優先度や本当に何が出来るのか、もう少し具体化していかないと、協議がしばらくいかかもしれませんね。

【 佐藤会長 】

ありがとうございます。

何をいつまでに、という具体的な段階に入っていくと、確かに渡邊副会長が言われたことが出てきますね。

【（厚）地域振興課 高田課長】

いま渡邊副会長が言われたことについては、今後実施する聞き取り調査によってもう少し明らかになってくると思いますので、また地域協議会や5連の会長会議で協議しながら、まずは成功事例をつくって徐々に拡大していく方向かなと思っています。

【佐藤会長】

石狩市の協議書に基づいて地域協議会が作られています、平成32年度までは協議書で定められていますが、その後どうなるか未知数です。このカンパニーの件は、地域協議会と自治会との連携を強化していく方向もあり、自治会を中心にした自治活動を今から準備して、地域自治区のあり方を考えようということで、その一環としてこれがあるわけです。

ですから、盛り沢山でしたが、これは構想ですから、今後は具体化していくために、緊急性のあるもの、地域の特に高齢の方々に対して、緊急性のあるものを、生の声を聞きながら、それらを作っていく。そこで更に具体化していく形ですね。ですので、そのときにまた皆さんのご意見を頂くということで宜しいでしょうか。

このような内容ですが、仮称あつたカンパニーの構想をこのまま続けていっても宜しいでしょうか。

【（厚）西田支所長】

誤解の無い様にお願いしたい点があります。

ご承知のように来年の春に道の駅がオープンします。こちらの方は、厚田と浜益の活性化に向けて核になる施設でございますが、ここはいわゆる外からお客様に来たらう、いわゆる遠来の部分の主要な施設としてオープンします。一次産業の方の関わりが大きくなると思いますが、それ以外の区民の方がまったく関われないということではありません。今回協議頂いたカンパニー構想は厚田区民による厚田区民のための組織ですので、厚田に住んでいる方々がいろんな意味で感心を持ってもらいながら、道の駅に感心を持ってもらう事が、これからの厚田に大切な事と思っていますので、道の駅とも関連しながらの事業ですので、よろしくお願いします。

【佐藤会長】

誤解の無い様にという事でした。

道の駅は多くの人に来て貰って商売をする遠来ですね。遠来が良くなるとこれが地域に浸透するかというと、一部は浸透しますが、地域の人の暮らしとは直接的には影響して来ない。やはり近所の部分と遠来の部分が相まって地域が活性化するという事ですので、この構想を進めて行きたいと思っていますので、よろしくお願いします。

地域おこし協力隊の選考委員の推薦について

【佐藤会長】

つぎに、地域おこし協力隊の選考委員の推薦について、相原主幹の方からお願いします。

【（厚）地域振興課 相原主幹】

地域おこし協力隊の選考委員について、ご提案します。

まず、石狩市では次年度の採用に向けて、地域おこし協力隊2名を現在募集中でございます。今月末を締切としており、今後は応募者の1次選考と、2月中旬には面接を中心とした2次選考を予定しています。これに対して市から、地域協議会に対して、この2次選考の面接に当たって、市の職員だけではなく、これまで協力隊の導入、並びに活動の総括など、そして次の協力隊の募集など繋がり深い地域協議会に対して、1名の選考委員推薦を依頼されています。

ですので、この場をお借りして、皆様にご協議して頂きたいと思っております。

【佐藤会長】

今回も2名の地域おこし協力隊を募集しております。その2次の選考委員として、この地域協議会から1名推薦を依頼されています。前回は私がしましたが、これは地域協議会の会長がするわけではありません。地域協議会の委員の中から、適切な人を選んで下さい、というわけです。特に今回はアウトドアや食や販売に関わる業務などを中心に行って頂きたい、ということですから、このようなことに感心をお持ちの方が面接して、色々意見を聞き出すことが求められます。どうでしょうか。

【小笠原委員】

そのような内容ですと、これまでの関わりを考慮すると、やはり佐藤会長が最適と思いますがいかがでしょうか。

【 渡邊副会長 】

私も佐藤会長が適任だと思います。

【 佐藤会長 】

それでは私がお受けするということで、宜しいでしょうか。

【 (厚) 地域振興課 相原主幹 】

ありがとうございました。

それでは、市の方に地域協議会からは佐藤会長を推薦するという事で報告します。

4. 報告事項

地域おこし協力隊の募集状況について

【 佐藤会長 】

それでは報告事項について相原主幹からお願いします。

【 (厚) 地域振興課 相原主幹 】

12 月の下旬頃から市のホームページなどで募集要項を公開しておりましたが、今日現在ではまだ応募はありません。なお、ホームページの閲覧状況ですが、最終的に応募には結び付いていませんが、平均すると 1 日 10 件前後の閲覧があります。

選考のスケジュールですが、2 次選考は 2 月 19 日頃を予定しています。

5. その他

ウィンターレク（開催日：2 月 12 日。主催：厚田区自治コミュニティ「ゆめ倶楽部」）と、地域おこし協力隊の活動報告会（3 月 11 日開催）について、開催概要を報告。

6. 次回会議等の日程について

平成 29 年 2 月 27 日（月曜日）厚田保健センター

7. 閉会

平成 29 年 2 月 27 日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 佐藤 勝彦